

## 第4章 景観まちづくりの拠点

### (1) やなぎ通り・シンボルロードとその沿道

<p><b>選定理由</b></p> <p>やなぎ通り・シンボルロードは、市域を南北に貫く都市軸であり、その沿道には、多様な都市機能が集積し、浦安市の都市活動の中心を形成している。本市を代表する都市空間であり、多くの人々が日々利用し、親しみを感じている道路なので選定しました。</p>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電線類の地中化、広幅員の歩道、デザインされた舗装や街路灯などが特徴ある道路景観を形成しています。</li> <li>・やなぎ通りは、旧江戸川～浦安駅～湾岸道路までの区間を指し、やなぎの街路樹などが特徴ある道路景観を形成し、その沿道にはロードサイド型の商業機能が多数立地しています。</li> <li>・シンボルロードは、湾岸道路～新浦安駅～東京湾に至る区間を指し、幅員 50m で整備されています。とりわけ、新浦安駅を中心とした区間は、シンボルロード整備事業として実施され、水と緑に溢れた、本市を代表する都市空間となっています。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲やなぎ通りの景観</p>		 <p>▲シンボルロードの景観</p>

### 目 標

市を象徴する道路にふさわしい

**風格とにぎわいのある景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<p>● 沿道の個性を大切に、道路空間と調和した沿道のまち並みをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－景観重要公共施設への指定を検討</li> <li>－屋外広告物の掲出に関する基準の検討</li> <li>－区間ごとに建築物の意匠や形態のあり方の検討（圧迫感を軽減する建築物の建て方や調和など）</li> <li>－街路樹の維持保全</li> </ul>
<p>● 歩くことが楽しくなる、にぎわいがあり個性的で洗練されたゆとりのある景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－低層部への商業・業務機能の配置などにぎわいを連続させるルールづくりの検討</li> </ul>
<p>● まち角の演出などにより、場所ごとに印象深い景観を形成し、まち並みに変化を持たせた景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－区間ごとの特性をいかしたまち並みイメージの検討</li> </ul>

## (2) 大三角線とその沿道

### 選定理由

・元町地域とアーバンリゾートゾーンを結ぶ重要な東西幹線道路であり、沿道には商業施設が多数立地し市民に親しまれている通りなので選定しました。

### 景観特性

・道路景観は、広幅員でゆとりがあり、街路樹も成長し、潤いのある景観となっています。  
 ・沿道のまち並みは、主に中低層の建築物で構成され、小規模な店舗が軒を連ねにぎわいのある景観を形成しています。  
 ・堀江橋付近から望む夕日や富士山は市民に人気の景観スポットとなっています。

### 位置図



▲緑豊かな道路景観



▲ゆとりある歩道景観

## 目 標

生活に密着した都市機能が集積する

親しみのもてる沿道商業地としての景観を目指しましょう

方 針	景観まちづくりのイメージ
● 個性ある店舗と住宅が調和した、にぎわいのある沿道景観をつくる	ー 区間ごとの特性をいかしたまち並みイメージの検討 ー 低層部への商業・業務機能の配置などにぎわいを連続させるルールづくりの検討
● 誰もが快適に移動できる、にぎわいと潤いのある沿道型商業空間としての景観をつくる	ー 景観重要公共施設への指定の検討 ー 道路改修における景観の向上の検討 ー 沿道型商業地としての、交通問題と景観の両立の方策検討 ー 電線類の地中化の検討 ー 元町地域とアーバンリゾートゾーンを結ぶ重要な道路としての位置づけの検討 ー 街路樹の維持保全 ー 街灯、舗装などの改善の検討
● 歩道幅員や街路樹の高さと調和した建築物の配置やデザインにより圧迫感を与えないような景観をつくる	ー 「道路の緑」「宅地内の緑」をいかしたまとまりのあるまち並みイメージの検討 ー 街路樹などと調和する建築物の意匠や形態のあり方の検討

**(3) 若潮通りとその沿道**

<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新浦安駅とアーバンリゾートゾーンを結ぶ重要な東西幹線道路であり沿道には大学病院や公共建築物が立地し市民に親しまれている通りなので選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路は、片側2車線で整備され、街路樹には「市の木」であるイチチョウが植えられ、歩車道の境界部には、低木の植栽が施されています。</li> <li>・沿道のまち並みは、南側が京葉線の高架橋、北側が病院や公共建築物や住宅地などで構成され、落ち着いた景観を形成しています。</li> <li>・歩道空間のゆとりが少ない。</li> <li>・工業ゾーン付近の景観に潤いが少ない。</li> </ul>	<p><b>位置図</b></p>   <p>▲新浦安駅前の道路景観</p> <p>▲順天堂大学病院付近の道路景観</p>
---	--	--

**目 標**

緑が連続する

**ゆとりと潤いのある景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 街路樹の緑と周辺緑地が調和した沿道景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－景観重要公共施設への指定の検討</li> <li>－屋外広告物の掲出に関する基準づくりの検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩道や緑地の連続により、快適で潤いのある景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－電線類の地中化などによる、歩行空間のゆとり創出の検討</li> <li>－街路樹の維持保全</li> <li>－沿道の緑を増やし守る工夫の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道高架や集合住宅などの大規模施設のデザインや高架下利用の工夫により圧迫感の軽減された景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－鉄道高架下部の利用ならびに修景についての検討</li> <li>－鉄道から見える看板や建築物の高層化など、眺望を阻害しないようなルールづくりの検討</li> </ul>

**(4) 舞浜駅前通り(仮称)とその沿道**

<p><b>選定理由</b></p> <p>・東京ディズニーリゾート®のデザインコンセプトを活かし、街路灯サイン、標識、街路樹などが一体的にデザインされ、良好な景観を形成している通りなので選定しました。</p>	<p><b>景観特性</b></p> <p>・街路樹、サイン、標識、街路灯などが「海」をテーマにデザインされ、リゾート的な雰囲気を醸し出しています。</p> <p>・管理の行き届いた道路景観は、この地区の重要な景観資源です。市民の憩いの空間となっています。</p>	<p><b>位置図</b></p> 
 <p>▲舞浜駅前通りの景観 (イクスピアリ前付近)</p>		 <p>▲舞浜駅前通りの景観 (舞浜駅前付近)</p>

**目 標**

アーバンリゾートゾーンのシンボリックな空間として、来街者や市民にも親しまれる

**豊かな緑と洗練されたデザインの道路景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<p>● 魅力ある質の高い道路景観を維持増進していく</p>	<p>－景観重要公共施設への指定の検討</p> <p>－街路樹の維持保全</p> <p>－道路の雰囲気に調和した、占有許可のあり方の検討</p>
<p>● 個性的な緑、サインなどを配置し、誰もが快適に利用できるような景観をつくる。</p>	<p>－屋外広告物の掲出に関する基準づくりの検討</p>
<p>● 沿道敷地では、連続した緑の配置などにより、道路景観との調和を図る。</p>	<p>－リゾート地としての雰囲気を醸し出す植栽や建築物の維持保全</p>

(5) 境川とその沿岸		
<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市域を南北に貫く境川は、浦安の母なる川であり多くの市民に親しまれているため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境川は、かつて元町が漁師町であった頃の名残を現代に伝える歴史的な景観資源となっています。</li> <li>・元町、中町、新町それぞれに異なった川幅、沿岸土地利用で構成され、多様な河川景観を形成しています。</li> <li>・水質、ゴミなどが問題になる場所も見受けられます。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲元町地域の景観</p>		 <p>▲中町地域の景観</p>

**目 標**

浦安の中心を貫き、水と緑のネットワークの拠点として

**川との関係に配慮された潤いと親しみのある景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<p>● 沿岸のまち並みと河川空間が調和した景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－景観重要公共施設への指定の検討</li> <li>－区間ごとの特性をいかしたまち並みイメージの検討</li> <li>－Cゾーンの護岸のデザインと調和したまち並みイメージの検討</li> <li>－川沿いの公共施設との一体的な活用の検討</li> </ul>
<p>● 散策路や親水広場、街路樹などの緑の創出や、護岸橋梁などのデザインの工夫により、水を身近に感じ、潤いのある沿岸景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－水面上の工作物の色彩の検討</li> <li>－水門、排水機場のデザインの改善と景観スポット化の検討</li> <li>－新町地域におけるジョギングロード、サイクリングロードなどの親水機能の整備</li> <li>－BゾーンとCゾーンの改修デザインの統一の検討</li> <li>－護岸改修、水質浄化、ゴミ撤去などの検討</li> </ul>
<p>● 川を中心として開放感のある、川筋に圧迫感を与えないような景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－川筋の景観について、区間ごとに目標とすべき方向性の検討</li> </ul>

**(6) 見明川とその沿岸**

**選定理由**

- ・桜並木、親水プロムナードなどが市民の憩いの空間として親しまれており、沿道のまち並みも含めた落ち着いた雰囲気のある景観の保全を図るため選定しました。



▲親水化されたプロムナードの景観

**景観特性**

- ・旧江戸川から分岐する見明川は、埋め立てにより造出された人工河川であり、昭和52年に一級河川の指定を受けました。流域延長は、約1.35kmで、堀江橋から伝平橋までの間を指します。
- ・見明川沿岸では、河川管理用通路をいかした水辺の遊歩道整備が進められています。

**位置図**



▲沿岸の桜並木の景観

**目 標**

桜並木やプロムナードなどをいかした

**緑豊かで水辺に親しめる景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
● 水辺と街路樹など周辺と調和した景観をつくる	ー景観重要公共施設への指定の検討 ー桜並木の保全、プロムナードの美化推進 ープロムナードの延伸整備検討
● 水辺への眺望、身近な憩いの空間の創出により潤いのある沿岸景観をつくる	ー護岸、緑地などは水辺への眺望などをいかした整備の検討 ー電線類の地中化の検討 ー護岸改修、水質浄化、ゴミ撤去などの検討
● 桜並木や、沿岸の緑が周辺に広がるよう、建築物外構デザインの工夫された景観をつくる	ー桜並木や沿岸の緑をいかしたまち並みイメージの検討

**(7) 東京湾沿いの護岸・緑地・公園**

<p><b>選定理由</b></p> <p>・海辺は浦安の重要な景観資源です。海辺には、公園、緑地が整備され、海を眺める事のできる場所は多くの市民に親しまれているため選定しました。</p>	<p><b>景観特性</b></p> <p>・広がりのある海、海沿いの連続した緑は、水と緑の調和した景観を形成している。</p>	<p>位置図</p> 
 <p>▲総合公園から臨む東京湾</p>		 <p>▲海に囲まれた景観は浦安を象徴する</p>

**目 標**

水辺のまち浦安を象徴するような

**広がりのある海辺景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<p>● 海辺へのパブリックアクセスを確保する</p>	<p>－景観重要公共施設への指定の検討</p> <p>－護岸の市民利用の促進方策の検討</p> <p>－ジョギングロード、サイクリングロードなどの親水機能の整備</p>
<p>● 海辺への眺望、身近な憩いの空間の創出により市民が海辺に親しむ海辺景観をつくる</p>	<p>－護岸、緑地などは水辺への眺望などをいかした整備の検討</p>

**(8) 旧江戸川沿いの護岸**

<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧江戸川沿いには、護岸の改修により、広々した河川沿いの緑地や遊歩道が連続的に整備され、対岸の風景や夕日などを望める場所として多くの市民に親しまれているため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緩傾斜護岸として整備された舞浜地区は、夕日の名所として市民に親しまれている。</li> <li>遊歩道が整備された部分は、水辺の散策路として市民に親しまれている。</li> <li>旧江戸川沿いには、堀江ドック、西水門など浦安らしい景観資源が点在している。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲舞浜付近の緩傾斜護岸</p>		 <p>▲堀江ドックの景観</p>

**目 標**

川沿いの景観を多くの市民が安心して楽しめるように

**ゆったりとしたゆとりのある水辺の景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水を身近に感じるおいのある沿岸景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—景観重要公共施設への指定の検討</li> <li>—緩傾斜護岸、テラス護岸の整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 川に至る安全な歩行者ルートを創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—歩道照明、バリアフリーに配慮された歩行者、自転車動線の整備の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 川沿いの景観資源を活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>—堀江ドック、西水門など固有の景観資源の活用方策の検討</li> </ul>

(9) 浦安駅周辺		
<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東西線浦安駅を中心としたエリアは、昭和44年の東西線開通以来、浦安の経済活動の中心として発達してきました。そして、都市形成上の拠点でもあり、景観形成上も重要な役割を担っているため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺には、駅前ロータリーを中心として、店舗、事務所、金融機関などの施設が小規模な単位で立地しています。</li> <li>また、市川浦安線、やなぎ通りなどの幹線道路が縦横に走り、その沿道にも各種用途の建築物が軒を連ね、にぎわいのあるまちの様子を呈しています。</li> <li>回遊性の高い歩行者動線が形成され界限性を醸し出しています。</li> <li>一方、屋外広告物、放置自転車等が乱雑な景観の印象を与えています。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲ 駅前の景観</p>		 <p>▲ 沿道の景観</p>
目 標		
<p>界限性を持った都市空間の魅力をいかしながら、</p> <p><b>活気やにぎわいのなかに秩序を備えた景観を目指しましょう</b></p>		
方 針	景観まちづくりのイメージ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活気やにぎわいを大切にしながら、建築物デザインや屋外広告物などに配慮し、調和のある景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－活気やにぎわいを大切にしたまち並みイメージの検討</li> <li>－自転車駐車場のデザイン、配置などの工夫による自転車駐車場の景観の改善の検討</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広場や緑の配置などの身近な憩いの空間の創出により、ゆとりと潤いを感じる景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－駅前広場の景観重要公共施設への指定の検討</li> <li>－壁面緑化、コンテナ緑化など多様な緑化手法の導入の検討</li> <li>－ゆとりのある敷地では、広場などの屋外スペースの創出の検討</li> <li>－元町地区の歴史的景観を感じてもらえるようなガイド板などの設置の検討</li> <li>－路上の工作物の整序や歩き難い歩道のバリアフリー化の検討</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築物の形態、色彩、セットバックなどの工夫により、歩行空間に対し圧迫感を感じさせない景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－建築物や屋外広告物に関する景観形成の詳細なルールづくりの検討</li> </ul>	

**(10) 新浦安駅周辺**

**選定理由**

- ・京葉線新浦安駅を中心としたエリアは、昭和 63 年の京葉線開通以来、浦安の新たな拠点として発達してきました。
- ・市街化に際し、官民が共同して景観まちづくりを行い質の高いまち並みが創出されているため選定しました。



▲商業・業務施設や住宅が集積する駅南側

**景観特性**

- ・駅周辺には、駅前広場を中心として、大規模な商業・業務施設、ホテル、文化施設などが立地しています。また、その周辺には、戸建住宅や集合住宅が多数立地しています。
- ・駅前の商業施設、業務ビル、ホテルなどの立地する街区は、地区計画制度と建築協定制度的導入され、建築物に対する計画的な景観誘導が官民一体となり行なわれました。駅舎、駅前広場、シンボルロード、歩道橋などの整備水準は極めて高くなっています。

**位置図**



▲住宅地とホテルなどが集積する駅北側

**目 標**

多様な機能や空間を備えた

**表情豊かな景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水、緑、道路などと建築物が調和した、統一感のある先進的な景観を維持継承する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－統一感のある景観の保全</li> <li>－多様な機能や空間を備えた表情豊かな景観の維持増進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広場などの憩いの空間や快適な歩行空間が確保された、ゆとりと潤いを感じる景観を維持継承する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－多くの人々が使う空間として、安全で使いやすく心地よいと感じる景観の維持増進</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民にふるさとも感じてもらえるような水と緑をいかした景観を維持増進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－豊かな緑の維持増進</li> <li>－多くの人々が交流する景観の形成</li> </ul>

**(11) 舞浜駅周辺**

<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市西部の顔となる空間であり駅を中心として質の高いまち並みが形成されています。今後の駅前市街化などによりさらに魅力を高めていくため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京葉線舞浜駅を中心としたエリアは、昭和 58 年の東京ディズニーランド®の開園、昭和 63 年の京葉線開通により現在のまちの姿が形成されました。</li> <li>駅北口（住宅地側）と南側（海側）では全く異なる市街地を形成している。</li> <li>京葉線や首都高速道路・国道 357 号線の高架線や歩道橋などが景観に影響を与えている。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲舞浜駅南口の景観</p>		 <p>▲舞浜駅北口の景観</p>

**目 標**

我が国を代表するアーバンリゾートゾーンとして、また住宅地の玄関口としての落ち着きと安らぎを備えた

**人を迎え、もてなし、交流するための景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<p>● リゾートと住宅地という特性の異なる利用特性をいかし、それぞれの特性にふさわしい景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南口での景観を維持するためのルールづくり（良好な道路景観、敷地際の緑化、建築物高さや屋外広告物）の検討</li> <li>北口公共施設周辺での、住宅地の玄関口としての駅前にふさわしい景観の創出の検討</li> </ul>
<p>● 来街者や地域住民が快適に利用できる、駅とまちをつなぐ景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の景観重要公共施設への指定の検討</li> <li>駅周辺の公共施設の修景（歩道橋、高速道路の高架など）の検討</li> <li>北口駅前の整備の際の質の高いまち並みの創出の検討</li> </ul>
<p>● 周辺の広大、漠然とした空間を感じさせないよう、きめ細かな修景や緑化などにより、まとまりのある 景観をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京ディズニーリゾート®の考え方をベースにした、エリア全体の外部空間のデザイン方針の統一の検討</li> </ul>

**(12) シビックセンター地区周辺**

<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の行政機能の中核として多くの市民が訪れる場所であり、浦安の景観を代表する場所としての景観形成が求められるため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浦安市の行政機能が集積したエリアで、市役所、文化会館、図書館、郷土博物館、消防署などが立地しています。</li> <li>・低層の建築物を主体にゆったりとした空間構成で配置され、緑も多く潤いのある景観を形成しています。</li> <li>・境川と接する部分もあり、水門、改修された護岸やプロムナードが個性のある景観を形成しています。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲地区空撮</p>		 <p>▲図書館周辺の景観</p>

**目 標**

多くの市民が集う空間であるため、

市民の憩いの場となるような、使いやすく、

**ゆとり・うるおい・風格のある景観を目指しましょう**

方 針	景観まちづくりのイメージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゆとりある建築物や水・緑の配置、落ち着いた建築物・基盤施設のデザインにより、浦安公園と公共施設が調和する景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－地区全体の景観まちづくりの方針を詳細に検討</li> <li>－境川の護岸、水門などの修景方策の検討</li> <li>－季節感のある緑のデザインの検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誰もが分かり易く利用できるような、歩行者動線やサインなどに配慮したうるおいのある景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－動線計画やサイン計画の検討</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歩道空間や周辺環境に圧迫感を与えないような、建築物・外構デザインに配慮した景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－多くの市民が集い、快適に利用できるような公共建築物の景観デザインの検討</li> <li>－新たに計画される建築物等の周辺環境に調和した景観デザインの検討</li> </ul>

(13) 堀江・猫実・当代島地区		
<p><b>選定理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>浦安の歴史を物語る地区であり多くの市民に親しまれています。その景観を保全しつつ、新たなまちづくりに対応するため選定しました。</li> </ul>	<p><b>景観特性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かつてこの界限には漁業を生業とした漁師の人々が多く暮らしており、今も、その当手を偲ぶことのできる建築物や空間が残り、この地区の魅力のひとつとなっています。</li> <li>こうしたことから、この地区は、私達のまちの起源や成り立ちを知ることのできる、本市でも極めて貴重な空間であるといえます。</li> <li>現在、この地区は、住宅を中心に、集合住宅、生活利便施設である小規模な商業、業務施設が共存して立地しています。</li> </ul>	<p>位置図</p> 
 <p>▲水門付近の景観</p>		 <p>▲濱野医院周辺の景観</p>
目 標		
<p>残された歴史的な景観資源をいかし、浦安の歴史を未来に伝える、</p> <p><b>風格とにぎわいのある景観を目指しましょう</b></p>		
方 針	景観まちづくりのイメージ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多くの寺社や漁村としての地域文化を伝える、建築物、生活風景などの歴史的景観資源と調和した景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－歴史的景観資源の保全</li> <li>－境川の護岸改修、水質浄化、ゴミ撤去などの検討</li> <li>－境内などの緑の保全とまちづくりへの活用の検討</li> <li>－路地をいかした景観まちづくりの検討</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暮らしに密着し、身近なふれあいの風情を残した景観を継承していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－回遊性を高めるため境川を中心とした歩行者ネットワークの形成の検討</li> <li>－案内板の設置等と市民や観光客へのPR方法の検討</li> <li>－フラワー通りのにぎわい景観の創出の検討（空き店舗の活用方策、低層部の店舗の連続性などの検討）</li> <li>－文化施設での宿泊体験や郷土博物館との連携</li> <li>－往時を偲ばせる店舗などの保全の検討</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築物の建て方、外構などの工夫により、圧迫感を感じない景観をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>－歴史的な景観資源をいかしたまち並みイメージの検討</li> <li>－敷地内での緑を増やす工夫</li> </ul>	

(14) 東京ディズニーリゾート

選定理由

- ・東京ディズニーリゾートは我が国を代表するリゾート施設であり、景観のみならずゾーン全体を特徴づける最大の資源であるため選定しました。

景観特性

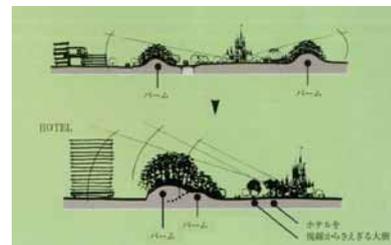
- ・テーマパークごとに固有のコンセプトのもとデザインしています。
- ・アーバンリゾートゾーンの象徴であり、調和のとれたリゾート景観の中心となっています。
- ・ディズニーテーマパーク内は、バームという盛土+森で囲まれ、周辺とは別世界の景観を形成しています。

位置図



©Disney

▲ディズニーテーマパークの景観



▲景観を特徴づけるバームの構成

目 標

ディズニーテーマパークを中心に

非日常的で夢を感じる景観を目指しましょう

方 針

景観まちづくりのイメージ

- 訪れた人が日常を忘れてしまうような景観を維持・向上させる

- ーディズニーテーマパーク内の景観を維持増進する
- ーバームを良好に維持管理する
- ー周辺の建築物や工作物がディズニーテーマパーク内から見えないようにする方策の検討
- ー湾岸道路や京葉線の車窓から見たリゾート景観の維持・増進の検討